

会 議 録

案 件	第 1 回市貝町自治基本条例町民検討委員会作業部会		
日 時	平成 28 年 7 月 6 日（水）17:00～18:30	場 所	大会議室
出 席 者	部会員 11 名、事務局 4 名	傍 聴 者	0 名

内 容

1 開会【進行：事務局・企画振興課長】

2 あいさつ

（委員長）：自治基本条例の制定に関わる仕事に携わって長いですが、この市貝町では今までにない試みで感動している。町民の代表たる委員、行政のプロフェッショナルである職員、そして未来を担う学生という組み合わせによる作業部会は私も経験がないことだ。今回は第 1 回作業部会ということで、議論を円滑にするため、グループでの討議に入ってしまう前に自己紹介や質問を相互に行う形にしたい。この自治基本条例の方向性としては、法的にどうかということよりも、「市貝町をどうしたいか」の意志が見える生きた言葉での作成を行うことを念頭に置きたい。

3 部会員、事務局紹介

- ・部会員および事務局がこれからの部会活動を円滑に進めるため自己紹介を行った。

4 作業部会説明

- ・事務局が資料 1 に基づいて説明を行った。
- ・部会長については事務局案が承認され中村部会員に決定した。

5 議題

- ・議事進行については、要綱第 6 条第 1 項の規定により、部会長が行った。

（部会長）：今回は初回であるので私が主導で進行していくが、基本的には部会員皆が主導したやり方で進行していくようにしたい。あまり固くならず、自由にのびのびとやっていくようにしようと考えている。何度も言うようだが、「法的に厳密であること」よりは言葉を平易に、小学生にもわかりやすい言葉で作成するくらいでよいと思われる。

（1）会議の公開、会議録の公表について

（部会長）：検討委員会でも話題になったことだが、今回検討することとしていた。閉鎖的と言われるかもしれないが、原則非公開とするのも一つの選択肢である。しかし、委員や学生を含め人の出入りを制限しないという方向性は維持していきたいし、学生同士のつながりで別の学生を呼び込むということもあり

える。そうした広がりを目指したくない。委員会と同様、原則公開を提案する。会議録については、委員会では匿名での作成、公開を行うこととしているが、作業部会ではどのようにしたらよいか意見を募る。

(部会員) : 公開された匿名の会議録を読んだが、確かに誰がどんな発言をしたかわからないほうが気兼ねせずやりやすい面がある。

(部会長) : では、作業部会においても匿名での会議録公開をするということではよろしいか。

部会長の提案に対し、異議なしで議事内容は承認された。

(2) 作業部会の役割等について

・事務局が資料3に基づいて説明を行った。

(部会長) : 役割に関しては、最初に厳密に決めてしまうよりは回を重ねながら決めていくイメージで考えたい。これだけ若いメンバーが参加しているので、徐々にやりとりも活発化していくはずだ。加えて、職員が参加するのも画期的であるが、市貝町職員というより、個人として、委員の一人として意見を出してもらいたい。

部会長の提案に対し、異議なしで議事内容は承認された。

(3) 自治基本条例について

・部会長がパワーポイントを用いて説明。

(部会長) : スライド2枚目から4枚目「分権改革の経緯」に見られるような歴史の流れがあつて、現在の潮流がある。90年代にはここまで地方分権の「自分たちで町政を作っていく」という気運が高まることはありえなかった。現在では300以上の自治体で自治基本条例が制定されている。

(4) 自治基本条例制定基本方針について

(部会長) : 自治体によってさまざまな条文のスタイルがあるが、とりわけ前文に町の特徴を盛り込んでいくべきだと考えている。また名前も「市貝町自治基本条例」のような固い形にこだわる必要はない。久慈市は「じゃじゃじゃ条例」と名付け、方言を用い地域色を盛り込んだ。例えば「サシバの里基本条例」という名前は市貝色が出ていてよいのではないか。日本一影の薄い町と揶揄されたこともあったが、影の濃い町に転身するには多少のひねりがあつていい。

(5) 今後の進め方について

(部会長) : とりあえず次回には前文に取り組みはじめてみようかと考えている。まず削ることは考えずに、あれこれと盛っていく形で意見を取り入れていきたい。どこから持ってきたものを真似てそれらしいものを作るのは簡単だが、市貝町ならではの構成、文体で作成することに意義がある。模倣は大いに結構だが、

優れた先駆者のエッセンスを取り入れつつも市貝町としての付加価値をつけていかなければならない。加えて部会の方針として毎回ごとに「実文として前進していること」を意識したい。

○グループワーク

グループ A （部会員 5 名、事務局員）

（内容）

- ・市貝町は聞いたことはあるが、場所までは知らなかった。
- ・周りの市町の名前は聞いたことがあったが、市貝町は知らなかった。
- ・子どもを育てるには良い場所（環境）である。
- ・緑がいっぱいである。
- ・若い世代は、市貝町の良さをわかっていない。
- ・都会から越してきて市貝町の地域社会へ入っていこうとした。
- ・花王の工場がある。
- ・「いちがい」ではなく「いちかい」。知らない方は、濁って発音することが多い。
- ・「サシバ」のこともよくわからない。

グループ B （部会員 6 名、事務局員）

（内容）

- ・学生は皆県外出身なので、市貝町のことをほとんど知らなかった。
- ・12～13 年前のテレビで「日本一影の薄い町」に選ばれた。
- ・ここ 10 年ほど、芝ざくら公園や道の駅の盛況が町内外に浸透し、影の薄い町から徐々に脱却しつつある印象。
- ・「サシバ」もここ 4～5 年で町おこしに使われ、「サシバの里」というフレーズも定着した。
- ・特産品としては、トマト、アスパラ、そして武者絵がある。こどもの日に武者絵が広がるようになれば町おこしになるかもしれない。
- ・町民は保守的な気質を持っている。

6 その他

（部会長）：スケジュールの確認を行う。次回 8 月 3 日は「町の現状と課題」というテーマで討論を行う。学生は市貝町について勉強も必要だろう。宿題ではないが、次回発言するためのメモ書きを用意してきてもらいたい。先ほど述べたとおり、次回からは前文の検討に入る。前文の中に盛り込むべき「キーワード」が次回部会の終わりに浮かんでいるような回にしたい。

7 閉会

以上、会議の概要について記録いたします。

その他詳細については、会議資料をもって会議録とします。